

AVANT NEWS

株式会社アバント

第23期報告書

2018.7.1-2019.6.30

世界を変えていくための第一歩。

世界に通用するソフトウェア企業を目指し、 アバントは大きく変化していきます。

株式会社アバントは、企業内外に存在するあらゆる経営情報を集めて分析し、

その企業独自の“未来の地図”を描くためのサポートを行っている会社です。

次のステップに進むために策定したのが**新中期経営計画「BE GLOBAL 2023」**です。

足元の国内市場で地盤を固めつつ国際化に向けて準備を行い、事業構造の転換をはかります。

デジタル化された情報を操り、企業の意志決定を支える現代のCFO＝「CIFO」。

CIFO組織の行う革新の推進役として、世界レベルのソフトウェアを提供する高付加価値企業へ。

その目標に向けて、私たちは大きく変化します。



よく見ると、この写真も変化しています。
あなたは変化に気づけますか？

表紙と下の写真を比べると、いくつか異なる箇所があります。その数を①、②、③の中から選び、裏表紙「業績ハイライト」下のあて先までお送りください。
※表紙の文字の削除は変化に含みません。

① 2個

② 3個

③ 4個



事業構造を転換させ、事業成果と市場評価の2軸で企業価値を最大化。

— AVANT Group 中期経営計画「BE GLOBAL 2023」 —

目指す姿

『BE GLOBAL』

CIFO ACCELERATORとして

世界に通用する知的財産（ソフトウェア）を持つ高付加価値企業となる



アクセラレーター
CIFO ACCELERATOR

デジタル化された経営情報を使って企業の意志決定を支える現代のCFOを「CIFO」と定義。CIFO組織が行う革新を様々な手段で推進させる存在がCIFO ACCELERATORです。



DX (デジタルトランスフォーメーション)

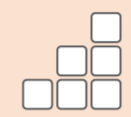
DXとは、デジタルテクノロジーを使って組織文化や業務スタイル、経営などをあらゆる面でより良い方向に変化させること。現在、政府や企業が積極的に取り組んでいます。アバントは製品・サービスを通じて、CIFO組織のデジタル化を支援してまいります。

世界に通用するソフトウェア企業へ

今回の中期経営計画では、アバントを世界で通用するレベルに引き上げることを目標としております。

知的財産の蓄積を活かしたビジネスモデルの転換

知的財産の蓄積を活かした既存の製品・サービスに、今後はクラウド製品の展開を目指し、ストック売上を高めます。



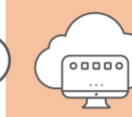
Package based Service

様々なノウハウを活かし、より付加価値の高いパッケージサービスを提供します。



BPO As a Recurring

お客様の価値創造につながるアウトソーシングを強化します。



Cloud Native

付加価値の高いサービスをクラウド上からお客様に提供します。

事業成果

GPP (売上成長率+営業利益率)

営業利益

市場評価

ストック売上比率



TOP MESSAGE

代表取締役社長

森川 徹治

新しい中期経営計画では、当グループが一丸となり高い目標にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループでは、2018年9月に「世界に通用するソフトウェア企業となる」ことを目標とした2023年6月期までの5ヶ年の新中期経営計画「BE GLOBAL 2023」を公表いたしました。この中期経営計画では、継続的に発生する売上である「ストック売上」の割合を70%まで引き上げることを中心に複数の目標を設定しておりますが、いずれも当社グループにとってチャレンジがいのある大きな目標であり、全社員が一丸となって前向きに取り組んでおります。

2019年6月期は過去最高の連結売上高となる140億円を達成し、連結純利益も13億円と4年連続で過去最高益を達成することができ、今期も増配を実現しました。これもお客様のご愛顧、および株主様やパートナー各社様のご支援の賜物であり、重ねてお礼申し上げます。

現在、我が国の企業はデジタル化による事業の変革に積極的に取り組まれています。このような中、当社グループは「CIFO ACCELERATOR」として、お客様の事業の変革を継続的にご支援することにより、持続的に成長してまいります。

今後も一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

	FY 2018	FY 2019
売上高	121億円	140億円
ストック売上比率	33%	31%
営業利益	16億円	19億円
GPP 売上成長率 + 営業利益率	28.5pt	30.2pt
ROE	24.5%	24.6%
配当	12円	15円

ポイント 1

事業転換を前提とした 売上高

売上高をただ単に伸ばすのではなく、ストック売上比率を高めながら伸長する構造を目指します。クラウドビジネスへの転換を目指しつつ、同時に現行の事業の成長も追求します。

ポイント 2

事業構造を変えていく ストック売上比率

知的財産を活用したクラウド商品を継続的にリリースするなどを通じて、事業構造の転換ができていくか測定するのがストック売上比率。継続契約のお客様を増やし、M&Aや資本業務提携も検討しながら、グループ全体で事業構造の転換を推進します。

ポイント 3

投資を行いながら増加を目指す 営業利益

将来の成長に向けて投資の手を緩めることなく、営業利益も増加させることを目指します。目標達成に向け、努力を重ねてまいります。

ポイント 4

グローバル化の基準となる 売上成長率 + 営業利益率

世界に通用するソフトウェア企業としての経営の成果を利益面と成長面の両方から測る指標。グローバルな視点で見ると当面は40pt以上が目標です。グループ全体で事業構造の転換を促進します。

ポイント 5

20%を維持する ROE

当社グループの経営原則を遵守し、収益性をさらに高めて資産をより効率的に運用。現状では目標の20%以上を達成していますが、さらなる向上を目指して引き続き取り組んでまいります。

ポイント 6

毎年増配を指向する 配当

配当は株主還元策の重要事項であり、安定配当・毎期の増配を目指しております。また、純資産配当率はその値を徐々に引き上げ、東証全上場企業の中で、上位を目指します。

ポイント 7

「DivaSystem」導入企業は累計1,000社を突破

DIVA®

連結会計関連事業を担うディーバでは「DivaSystem」の累計導入社数が1,000社を突破。大型案件の受注と各プロジェクトの品質改善により二桁の増収・増益を達成し、営業利益率も改善しました。ストック型ビジネスへの転換を進めるべくクラウド型ソリューションの開発を強化しております。

ポイント 8

BI 専業の強みを生かして増収・増益

ZEAL®
BI EVANGELISTS

BI*事業を手掛けるジールの売上高は前年比26%増。元請け案件の比率を高めたことで、営業利益もほぼ倍増しました。導入実績が評価され、マイクロソフト「Power BI Dashboard In A Day」の国内デリバリー第1号パートナーとしての活動を開始。今後も専門性を生かし、ストック売上比率拡大に向けた取り組みを強化します。

*BI=ビジネス・インテリジェンス

ポイント 9

事業領域を拡大し高水準の成長を維持

FIERTE

アウトソーシング事業を行うフィエルテは、売上高が前年比24%増と好調。連結決算のほか、グループ資金管理システム関連の売上高も1億円を超える規模に成長しています。今後もニーズに合わせてアウトソーシングや海外展開など事業領域を拡大し、高水準の増収・増益を目指します。

ポイント 10

新事業で大型のクライアント獲得

株式会社 インターネットディスクロージャー
Internet Disclosure Co.,Ltd.

開示情報検索サービスを担うインターネットディスクロージャーは、ストック型ビジネスである「開示Net」「eRules」に続く第三の柱「開示書類チェック」で大手監査法人の受注を獲得。他製品との連携による事業会社への展開も行いながら、今後も成長を続けます。

FY 2023 目標

180~220億円

70%

31~38億円

40pt以上

20%以上

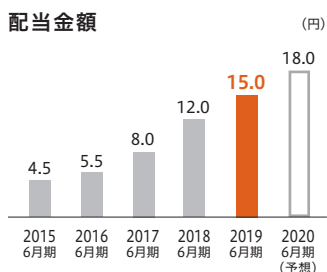
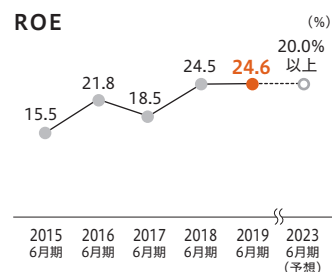
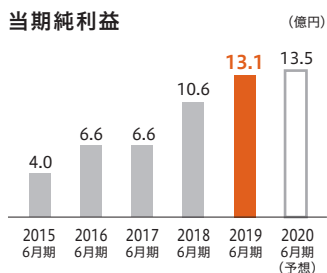
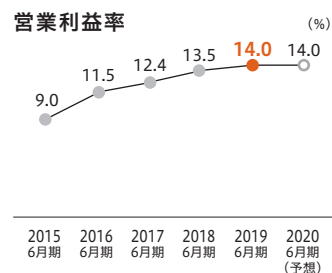
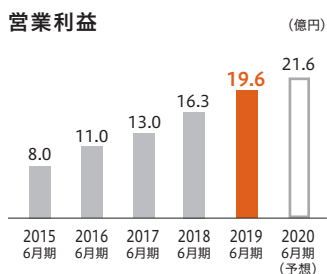
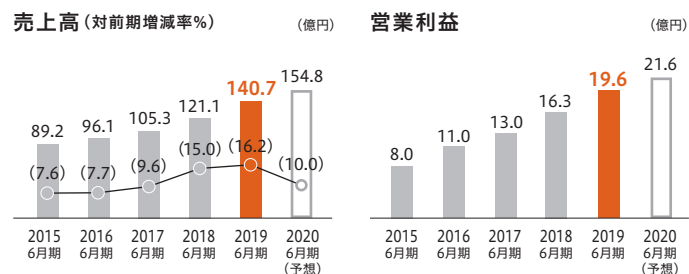
30円以上

TOPICS

アドバイザーにJacqueline de Rojas氏が就任

ヨーロッパIT業界で数々の受賞歴があり、Tech UKやDigital Leadersの代表を務めるJacqueline de Rojas氏が2018年10月、当社アドバイザーとして就任しました。「BE GLOBAL」の推進を加速してまいります。

業績ハイライト ■ 当期実績 □ 予想



連結会計関連事業、ビジネス・インテリジェンス事業、アウトソーシング事業のすべてが順調に伸長。プロジェクト品質や生産性の向上に努めたこと、及び売上高に対する固定費の割合が低下したことなどにより、3事業ともに収益性を向上し、4期連続増益を達成し、過去最高の水準となりました。

株式情報 (2019.6.30現在)

株式の状況

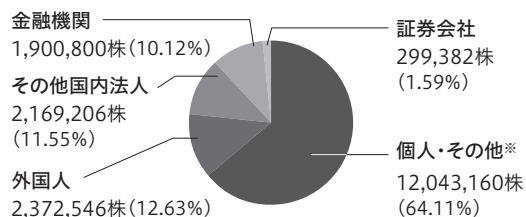
発行可能株式総数 31,152,000株
 発行済株式の総数 18,785,094株 (自己株式1,421株を含む)
 株主数 2,307名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
森川 徹治	4,882,000	25.99
アバント従業員持株会	1,734,600	9.23
日本トラスティサービス信託銀行(株)(信託口)	1,276,300	6.79
野城 剛	934,400	4.97
(株)オービックビジネスコンサルタント	800,000	4.26
ピー・シー・イー(株)	778,400	4.14
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	596,472	3.18
(株)光通信	423,000	2.25
小峰 俊之	256,000	1.36
BBH/DESTINATIONS INTERNATIONAL EQUITY FUND / WASATCH ADVISORS	224,511	1.20

※持株比率は自己株式1,421株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (持株比率%)



※自己株式1,421株は個人・その他に含まれます。

会社概要

商号 株式会社アバント
 住所 東京都港区港南二丁目15番2号
 TEL 03-6864-0100(代表)
 FAX 03-6864-0102
 設立 1997年5月26日
 従業員数 連結938名 単体37名(2019年6月末時点)
 資本金 2億9,552万5,149円
 子会社 株式会社ディーバ
 株式会社インターネットディスクロージャー
 株式会社ジュール
 株式会社フィエルテ
 DIVA CORPORATION OF AMERICA

取締役

代表取締役社長
 取締役
 社外取締役
 社外取締役

監査役

常勤監査役 野城 剛
 社外監査役 鈴木 邦男
 社外監査役 小林 正憲
 ジョルジュウジュウ

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
 定時株主総会 事業年度末日の翌年から3カ月以内
 基準日 6月30日(中間配当を行うときは12月31日)
 証券コード 3836
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL:0120-782-031(フリーダイヤル)
 [郵便物送付先]
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 公告の方法 電子公告により行います。

<https://www.avantcorp.com/ir/stocks/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

変化探し回答 & アンケート募集中

PRESENT



変化探しの回答を右記アンケートフォームよりお送りください。正解された方より抽選で、当社社長 & グループ会社社員からの公募写真で制作している『アバント特製カレンダー』をプレゼント!
 ※抽選は2019年11月29日実施予定です。
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



■アンケートフォーム
<https://krs.bz/diva/m/survey>

※変化探しの回答は「変化探しの回答」欄にご記入ください。
 ※プレゼントご希望の方は受け取り可能な郵送先をご記入ください。
https://www.avantcorp.com/privacy_policy/

最新のIR情報はHPにてご覧いただけます。

■トップページ
<https://www.avantcorp.com/>

■IRページ
<https://www.avantcorp.com/ir/>